

病院利用者楽しませる

美深高等養護
学校農業科

1年生が花壇整備に汗

【美深】美深高等養護学校(大泉真哉校長)の農業科による、美深厚生病院の花壇整備がこのほど行われた。

同院での花壇整備は毎年同科の実習の一環として行われていて、今年度は同科の1年生5人と教員らが作業を実施。定植する花の並べ方の計画や、花壇の土起こしなどの事前準備を行った上で、29、30日に各花壇への苗の植え付け作業を行った。

今回は病院の玄関付近や外周の花壇にそれぞれ、マリーゴールド、ペチュニア、ペゴニアの苗約100株の植え付けを実施。生徒たちは器具を用いて土に穴を開け、その中に1つずつ苗を植えていき、花壇を彩っていった。

今回植え付けを行った苗は、今の1年生が入学する前の今年3月ごろに上級生が種を植えて育てた株で、生徒たちはこれを受け継いで今回の作業に取り組んだ。今回の花壇整備について生徒たちは「完成できてうれしい」「病院を利用する人たちに花壇の花を見て楽しんでもらいたい」と話していた。美深厚生



美深厚生病院の花壇整備に取り組んだ農業科1年生

病院も毎年行われている花壇整備に対して「毎年患者さんたちも楽しみにしているのだからありがたい。われわれ

も花壇の花がすくすく育っていくのを楽しみにしたい」と、感謝の思いを語っていた。

また、今回の作業に合わせて、同校木工科の生徒が制作した看板を花壇に設置。看板は木工科の2年生が制作したもので、設置作業には木工科1年生の生徒が参加した。

(安積祥紀)